

1 単元名 戦争と平和の物語を読んで、心の「ずきん」を伝えよう  
「ちいちゃんのかげおくり」

2 単元の目標

- ・言葉や表現に着目して読み、進んで感想を書こうとする。

【国語への関心・意欲・態度】

- ・場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができる。 【読むことウ】

- ・感想の内容や書き方を発表し、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くことができる。 【読むことオ】

- ・目的や必要に応じて細かい点に注意しながら読み、場面をまとめたり、文を引用したりして感想を書くことができる。 【読むことエ】

- ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。

【伝国イ(7)】

3 指導にあたって

(1) 教材観

- ・言語活動 「ちいちゃんのかげおくり」で学習したことをもとに、戦争と平和について書かれた物語から、本を選び、自分の心に「ずきん」と響いたところを、根拠を明確にして理由と共に表現する「ずきんブック」を作成する。

| 裏表紙                                                                                                                      | 内側                                                                                                | 表紙                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| <p>物語を読んで戦争や平和について感じたこと</p> <p>ぼくは、伸一や妹のような小さい子どもがなくなっているのを知って戦争は絶対してはいけないとおもいました。さんりんしゃにいつでも乗れる平和な世の中が続いてほしいと思いました。</p> | <p>「ずきん」と心に響いた理由</p> <p>ぼくが、ずきんとしたわけは、伸一が、特攻にいくおじさんにもらったさんりんしゃのことを、げんばくにあつて死にそうなのに気にしていたからです。</p> | <p>『伸ちゃんのさんりんしゃ』</p> <p>児玉辰春</p> |

本教材は、「かげおくり」という素朴な遊びを題材にして、戦時下の家族の姿を描くことにより、戦争の悲惨さや平和を願う作者の思いが綴られた作品である。3年生の児童にとっては、学校の教科書に初めて登場する戦争と平和を題材とした物語文である。単元の目標にある「場面の移り変わり」を捉えやすい構成になっており、児童は、場面の変化に伴ったリアルに生き生きと表現された叙述を丁寧に追うことで、容易にちいちゃんに感情移入しながら読み進めることができる作品であると考えられる。

また、物語文の系統としては、2年生時では「スイミー」の学習で、「場面の様子を、想像を広げながら読む」学習を行っている。3年1学期には、「きつつきの商売」の学習で、「場面」や「登場人物」という用語が初出し、二つの場面の様子や違いに着目して読み、音読を工夫することができた。本教材後は、「三年とうげ」で場面の移り変わりから「登場人物の気持ちを想像」する学習、3学期には、「もちもちの木」で、登場人物の「会話」や「行動」から、人柄や気持ちを考える学習へと繋がる作品である。

## (2) 児童観

1学期に行った「もうすぐ雨に」の授業では、組み立てに基づき、人物の言動や気持ち、いちおしの部分を叙述から読み取り、「いちおしブック」で紹介した。そこで児童は、叙述から選んだいちおしの部分を、自分の体験を理由にして書く経験をしてきている。また、リテラシータイム等で取り組んでいるチャレンジ短作文については、1学期は自分の考えと理由を書くことに取り組み、2学期からは新聞などから根拠を挙げて考えや理由を書くことに取り組んでいるところである。現時点では、根拠から理由を筋道立てて述べられる児童は少なく、根拠と理由が同じになってしまう児童や根拠のない想像から理由を書く児童がいる。

## (3) 指導観

本単元の指導にあたっては、この作品が、児童が教科書で初めて学習する戦争や平和をテーマにしたものであることを念頭に置かなければならない。今後、毎学年このテーマは、教科書で取り扱われ、戦争の怖さや、今の平和の大切さについて考えるきっかけとなる意義深い教材である。しかし、児童にとっては、71年前の戦争は決して身近なものであるとはいいにくい。作品の中で登場する「空襲」や「防空壕」などといった言葉も、単に文字だけの説明では、理解することが難しいと感じる。そのため、視聴覚機器を多く活用したり、並行読書教材をそろえたりして、本教材が、児童にとって少しでも現実味のあるものとなるよう工夫していきたい。

また、本教材を通して、「場面の移り変わりに注意しながら、叙述をもとに想像して読む」力をつけるために、根拠となる叙述にサイドラインを引かせ、そこから考えの理由を記入する学習を行っていききたい。特に、二つの「かげおくり」の状況を、比べながら読んだり、第五場面の役割を考えさせたりすることで、叙述に即して読むことに自信をつけ、場面を短くまとめたり、文を引用したりして感想をまとめる活動に繋げていききたい。

## (研究テーマとの関わり)

### 【仮説2】との関わり

本時は、ちいちゃんの気持ちを、叙述をもとに想像して読むことができることが評価規準である。しかし、叙述の中のちいちゃんの発する言葉からは気持ちの変化は読み取りにくい。そこで、**大切**を「かげおくりの様子」と設定することで、それを根拠にちいちゃんの気持ちに迫ることができるのではないかと考えた。また、単に最後のかげおくりで、「家族に会えてよかった。」という捉えだけで終わらないように、どうしてちいちゃんの命が空に消えるところで「ずきん」とするのかを問うことで、自分の死にすら気付かずに消えてしまった小さな命について客観的に捉えさせたい。

4 指導計画と評価規準（総時数 12 時間）

| 次  | 時         | 狙い                            | 主な学習活動                                                                                                                             | 評価規準                                                                                                                                                     | 評価の観点 |   |   |        |             |
|----|-----------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---|---|--------|-------------|
|    |           |                               |                                                                                                                                    |                                                                                                                                                          | 関     | 調 | 書 | 読      | 伝           |
| 一次 | 1         | 学習の見通しをもつ。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦争の物語を読み、心をうたれたところを紹介しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> <li>・戦争の物語の並行読書をすることを確かめる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争の物語を読み、心をうたれたところを紹介することに関心を持ち、学習の見通しをもとうとしている。（発言）</li> <li>・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（行動）</li> </ul> | ○     |   |   |        | ○<br>イ<br>ア |
|    | 2         | 新出漢字を習得する。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字を読んだり、書いたりして練習する。</li> </ul>                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字を読んだり、書いたりして使っている。（ノート）</li> </ul>                                                                           |       |   |   |        | ○<br>ウ<br>イ |
| 二次 | 3         | 「ちいちゃんのかげおくり」を読み、感想をもつ。       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や朗読CDの範読を聞き、感想を書く。</li> </ul>                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の移り変わりに着目して読み、進んで感想を書こうとしている。（ワークシート・感想）</li> </ul>                                                            |       |   |   | ○<br>オ |             |
|    | 4         | 「10の観点」を意識して読み、物語を一文で書き表す。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定、人物、出来事など「10の観点」から物語の内容をとらえ、全体を概観した一文で書き表す。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定、人物、出来事などの観点から物語の内容をとらえ、全体を概観した一文で書き表している。（発言・ノート）</li> </ul>                                                  |       |   |   | ○<br>ウ |             |
|    | 5         | 登場人物の変化を捉える。                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの「かげおくり」の間の出来事や、その間の「ちいちゃん」の状況や気持ちについて考え、ノートに整理する。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の移り変わりに注目し、登場人物の気持ちの変化などを、叙述を基に想像しながら読んでいる。（ノート）</li> </ul>                                                    |       |   |   | ○<br>ウ |             |
|    | 6<br>（本時） | 二つのかげおくりの相違点を捉えちいちゃんの気持ちを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一場面と第四場面の「かげおくり」を比べて、相違点からちいちゃんの気持ちを考える。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の移り変わりに注意して読み、ちいちゃんの気持ちについて叙述をもとに想像して読んでいる。（ノート・発言）</li> </ul>                                                 |       |   |   | ○<br>ウ |             |

|        |    |                                |                                                                                                                                       |                                                                                                               |  |  |  |        |  |
|--------|----|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--------|--|
| 三<br>次 | 7  | 五場面が設定されているわけについて考えを伝え合う。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第五場面があるのとないのとはどう違うか、自分の考えを理由とともにノートに書いて発表する。</li> <li>・友達の意見を聞いて、自分の考えが変わった所を発表する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・叙述をもとに自分の考えを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。<br/>(発表)</li> </ul>        |  |  |  | ○<br>オ |  |
|        | 8  | 一番心を打たれた場面を中心に、理由とともに感想文を書く。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・P23の型を参考に、感想文を書く。</li> <li>・本文を要約したり引用したりする。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を引用するなどして、文章の叙述に基づき、感想文を書いている。<br/>(ワークシート)</li> </ul>              |  |  |  | ○<br>エ |  |
|        | 9  | 感想文を交流する。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と感想文を読み合い、考え方の違いや書き方の違いについて交流する。</li> </ul>                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を交流する中で、一人一人の感じ方の違いに気付いている。<br/>(発言)</li> </ul>                     |  |  |  | ○<br>オ |  |
|        | 10 | 紹介する本の一番「ずきん」とした場面を見つけながら読む。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介する本の一番心がうたれた場面を見つけながら読む。</li> </ul>                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の移り変わりに注目し、登場人物の気持ちの変化などを、叙述を基に想像しながら読んでいる。<br/>(ワークシート)</li> </ul> |  |  |  | ○<br>ウ |  |
|        | 11 | 一番「ずきん」とした場面を中心に、理由とともに感想文を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を要約したり引用したりしながら、感想文を書く。</li> </ul>                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を引用するなどして、文章の叙述に基づき、感想文を書いている。<br/>(ワークシート)</li> </ul>              |  |  |  | ○<br>エ |  |
|        | 12 | 感想文を読み合い、意見を交流する。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感じ方の違いや書き方の違いについて交流する。</li> </ul>                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を交流する中で、一人一人の感じ方の違いに気付いている。<br/>(感想発表)</li> </ul>                   |  |  |  | ○<br>オ |  |